



リブナビプラス
Library Navigator

院生のための
学術情報探し方ガイド

CONTENTS

目次

- 1 発行にあたって
- 2 **1** 学術情報収集の基礎知識
- 4 **2** 横断的に探す
- 9 **トピックス-1** 検索エンジン
- 10 **3** 海外の論文・記事・情報を探す
- 15 **4** 国内の論文・記事・情報を探す
- 21 **5** 電子ブックを使う
- 25 **6** 資料の入手方法1
- 26 **7** 資料の入手方法2
- 30 **トピックス-2** 学位論文の探し方
- 31 **8** 文献の利用方法と管理
- 34 **9** 附属図書館について
- 35 文献情報等探索ツール一覧表
- 39 参考文献

このガイドに掲載されている情報は、特に記載がないものは2023年12月1日時点での情報を基に作成しています。データベースの内容、Webサイトの情報、その他の情報については、変わる場合もあります。悪しからずご了承ください。

発行にあたって

放送大学の大学院生の研究活動への一助としていただくために『リブナビプラスー院生のための学術情報探し方ガイド』を刊行したのは2015年、その後2020年に改訂を行いました。このたび修正版をお届けすることになりました。3年の間の変化を反映しています。

2020年以降、新型コロナウイルス感染症の流行のために、生活、職業、学業などのありかたが大きく変わりました。大学における学業・研究もキャンパスに来ずにできることは来ずに行おうというかたちも増えました。感染防止対策のために対面による授業を制限しなければならなかったのは残念ですが、オンライン授業の長所も注目されるようになりました。

放送大学はキャンパスを言うならば全国57か所に展開し、学生もまた全国から受講しています。全国57か所の学習センター・サテライトスペースにおける面接授業も大切にしておりますが、放送・オンラインによる遠隔授業については放送大学はパイオニアです。そういう大学の附属図書館ですから、もちろん千葉・幕張の本部キャンパスに立地する附属図書館に来館して利用していただくことは大歓迎なのですが、来館しなくても利用できる方法があることも知っていただきたいと思っています。

このガイドでは、学生の皆さんが研究活動を進めていくときに、自宅等からも有益な情報を活用できるよう、インターネット上の情報探索ツール（Webサイト）を中心に紹介しています。情報を横断的に検索する方法、国内外の論文・記事・情報の探し方、電子書籍の使い方などは、附属図書館、学習センター等でももちろん利用できる方法ですが、インターネットにつながっているところではどこでも可能な方法です。

しかしそれだけでなく、電子化されていない図書・資料を遠隔利用する方法についても紹介しています。附属図書館の図書・資料をOPACで検索し、複写や自宅・学習センターへの配送を依頼することができます。また他大学の図書・資料についても検索でき、複写や取り寄せをすることができます。ひとつの大学の学生になったら他の多くの大学の蔵書も利用できるという制度もおおいに活用していただきたいと思います。

このガイドが、学術情報の海へ漕ぎ出そうとする学生のみなさんの羅針盤の一つとなれば幸いです。

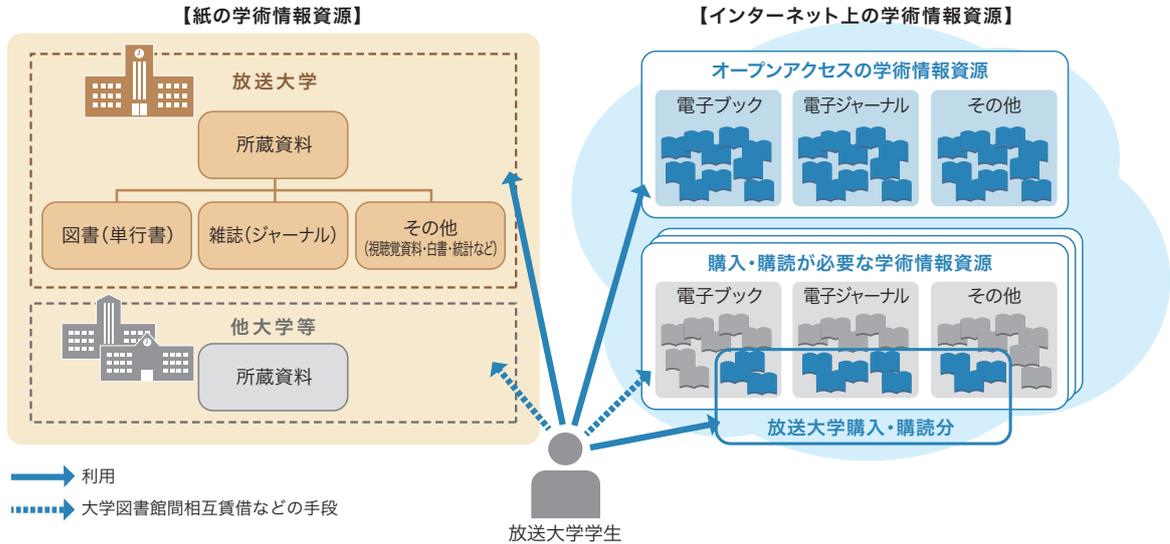
放送大学附属図書館

学術情報収集の基礎知識

学術情報の種類

附属図書館では学習や研究を進める際に必要なさまざまな学術情報を利用できるようにしています。図1に利用できる学術情報の全体図を示しました。

図1 附属図書館の提供する様々な学術情報



本学学生の皆さんが研究テーマに関係する先行研究を探す時は、図書(単行本など)だけでなく雑誌(ジャーナル)を利用することも多くなるでしょう。それぞれの性格の違いを表1にまとめます。なお、このガイドでは「図書」、「雑誌」は学術的な目的で刊行される専門書や学術雑誌を指すものとします。

表1 図書と雑誌

	図書	雑誌
発行形態	多くの場合、単独で発行される(シリーズ(全集)も有り)タイトルは一冊ごとに異なることが多い	継続的に終期を決めずに刊行される。すべて同じタイトルで、続き番号(巻号)を伴って発行される。
内容	一冊を通して体系的にまとまった内容とするものが多い	著者が異なる複数の論文・記事を収録。速報的、最新の成果
図書館での扱い方	内容によって分類し、番号(請求記号)をつけている	内容での分類はしない。一定期間が過ぎると複数の巻号をまとめて製本し、番号をつける

一般的には、速報性に優れた雑誌は最新の研究成果を個別的に知るのに適しているのに対し、図書はあるテーマに関して評価の定まった研究成果をまとめて知るのに適しています。また、これらをデジタル(電子)化してインターネット上で流通するようにしたのが電子ブックや電子ジャーナルです。

研究成果の主要な発表方法がどちらの形態かは研究分野等によっても異なり、主に図書を中心に発表される分野もあれば、雑誌に発表される最新成果が重要な分野もあります。

学術情報の種類により探し方が異なりますので、参考文献の記載方法などを見て、それが図書/電子ブックか雑誌/電子ジャーナルか判断できるようになるとよいでしょう。

表2 参考文献の記述例

参考文献 (図書の例)	参考文献 (雑誌の例)
Neisser, U. (1967). <u>Cognitive psychology</u> . (著者) (出版年) (図書タイトル) New York: Appleton-Century-Crofts. (出版社)	Neisser, U. (1974). <u>Cognitive Psychology</u> . <u>Science</u> , (著者) (出版年) (論文タイトル) (雑誌タイトル) 183, 402-403. (巻号, 掲載ページ)

先行研究の文献を調査するには、文献データベースを利用したり、ある文献の参考文献から遡って探したりします。文献データベースは、論文のタイトル、著者、抄録などの情報を集めたもので、複数の分野をカバーする汎用のものから個別の分野に特化したものまでさまざまです。このガイドで代表的なものをご紹介します。

インターネット上の学術情報の使い方

【大学購入・購読分】

多くの電子ブックや電子ジャーナルは出版社や学会等のWebサイトから有料で提供されています。附属図書館では、これらのうちから購入や購読の契約をすることにより、本学学生が本文を読むことができるようにしています。附属図書館が購入・購読している学術情報は放送大学キャンパス内(全国の学習センターおよび附属図書館内)で利用できます。

Point 1 自宅からの利用は「リモートアクセス」で

多くの資料は自宅などキャンパス外でも利用することができます。その際は、放送大学の構成員であること(=利用資格があること)を認証するため「リモートアクセス」でログインして利用します。ログインIDとパスワードは、システムWAKABAと共通です。ログインすると利用可能な電子ジャーナル・電子ブック等の一覧が表示されますので、利用したいものを選択してください。

リモートアクセスを使うと、電子ブックや電子ジャーナル本文の他、データベース等の利用でも利点があります。自宅でのご利用にあたっては、まずログインすることを強くおすすめします。
※リモートアクセスが認められていないものもあります。それらはキャンパス内をご覧ください。



電子ジャーナル・電子ブック
リモートアクセス
自宅から(学生・教職員のみ)

附属図書館トップページの
このバナーからログイン

Point 2 ルールを守って利用してください

・個人の調査・研究を目的とする場合に限り、文書・画像のダウンロードやプリントアウトができます。ただし、大量のデータのダウンロードは認められていません。プログラム等を利用したシステムティック(自動的)な処理はもちろんのこと、1件ずつでも大量にダウンロードすること、利用規約等で示された範囲を超えてダウンロードすることは、契約上禁止されています。

・ダウンロードしたデータは個人的な目的のために保存することはできますが、データの改変や第三者への再配布・蓄積は著作権・知的所有権を侵害する行為として禁止されています。

・上記を遵守しない場合は契約違反となり、当該出版社で提供する全ての電子ジャーナルの放送大学へのサービスが停止されることがあります。

【購入・購読外のもの】

附属図書館が購入・購読契約を行っていないものでも、個人負担で購入できる場合があります。また、他大学等から取寄せできることもあるので、このガイドを参考に調べてみてください。

【オープンアクセス】

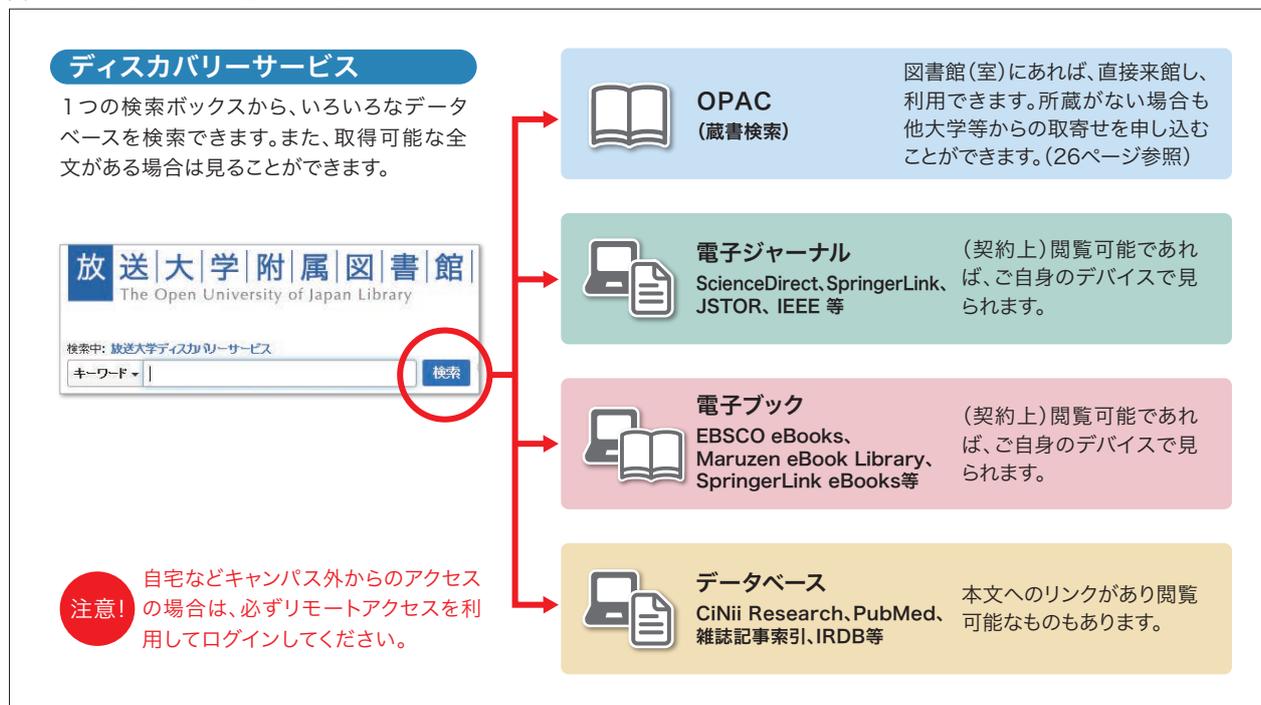
インターネット上で誰もが無償で論文などの学術情報を利用できるようにすることを「オープンアクセス」といいます。学術論文はもとより、かつては入手しにくかった会議録や報告書等もインターネット公開や機関リポジトリというサービスの広がりとともに入手できる機会が増えています。オープンアクセスの学術情報は自由に読むことができますが、たとえオープンアクセスであっても、利用にあたっては著作権法を遵守しなければなりません。また信頼できる場所から公開されているか、学術的価値があるものかなどを見極めたうえで利用することが必要です。

2 横断的に探す — ディスカバリーサービスを使う

ディスカバリーサービスとは

放送大学では、附属図書館や各学習センター図書室等で所蔵している図書、雑誌などの資料を調べる場合はOPAC(蔵書検索)で調べます。OPACでは、放送大学に所蔵がある場合は附属図書館(千葉市)から各学習センター図書室に資料を取寄せたり、放送大学に所蔵が無い場合でも他機関から複写物や資料を取寄せすることができます。また、電子ブックや電子ジャーナルは、それぞれの出版社や販売元のサイトで検索することにより該当論文や読みたい図書の本文を探して、読むことができます。しかし、探したいものがあるときに、いくつものWebサイトを検索する必要があり、時間もかかり不便でした。そこで導入したのが、ディスカバリーサービスです。ディスカバリーサービスは、一つの検索ボックスから様々な学術情報(データベース等)を一度に検索できる便利な情報探索ツールです。しかも、それぞれのデータベースにリンクするため、閲覧可能な資料は全文までたどり着くことができます。

図1 ディスカバリーサービスイメージ



他のデータベースとの使い分け

便利なディスカバリーサービスですが、特有の問題もあります。それは、個々のデータベースのデータはそれぞれのルール・方式で作成されているため、検索語の組み合わせや方法によっては、個々のデータベースでの検索結果と、ディスカバリーサービスでの検索結果が異なることです。

また日々、データも検索システムも世界規模で更新しているため、今日と明日の検索結果が異なる場合もあります。そのような面もありますが、図書や電子ブックなど形態にかかわらず、資料によっては本文まで検索できる強力なサービスです。万能ではないがとても便利なサービスという認識でご利用ください。

表1は、ディスカバリーサービスや他のデータベースを使い分ける際の目安としてください。

表2は、放送大学ディスカバリーサービスで検索できるデータベースの一例です。

表1 ディスカバリーサービスと他のデータベースとの使い分け

	放送大学 ディスカバリーサービス	放送大学蔵書検索 システム(OPAC)	CiNii Books / CiNii Research	他の個別のデータベース
放送大学に資料(図書、雑誌、放送教材など)があるか知りたい	○	◎	△ CiNii Booksで検索可能だが蔵書全部ではない	×
学術論文を探したい	◎	△ 論文単位での検索は×、掲載雑誌の所蔵確認のみ可能	○ CiNii Researchで日本の学協会やリポジトリの論文を検索可能	○ ディスカバリーサービスと併用すると効果的
読みたい論文(図書)がある。電子媒体で読みたい	◎ 収録雑誌名がわかっている場合は、直接、個別のデータベースで確認した方が確実	△ 電子ジャーナルや論文単位での検索は×、図書はタイトルや著者名での検索は一部可能	△ アクセス可能な論文も一部ある	○ ディスカバリーサービスと併用すると効果的
特定分野の文献を探す	△	△ 本や雑誌単位では探せるが、論文単位等では検索不可	△ CiNii Researchで日本の論文なら論文単位で検索可能 CiNii Booksでは本や雑誌単位での所蔵検索なら可能	◎

表2 放送大学ディスカバリーサービス検索対象となる主なデータベース

NO.	データベース名	データベース概要
1	arXiv.org	物理学、数学、計算機科学、量的生物学などのプレプリントを含むさまざまな論文が保存・公開(無料)されているウェブサイト。(コーネル大学)
2	CiNii Research	日本の学術論文を中心とした論文情報提供サービス。学協会発行学術雑誌や機関リポジトリ登録データなど、本文を読むことが可能な論文も多い。(国立情報学研究所)
3	DOAJ(Directory of Open Access Journals)	無料公開の電子ジャーナルポータルサイト。(スウェーデン・ Lund 大学)
4	ERIC	米国 Educational Resource Information Center 作成の教育関係のデータベース。検索結果に「Full Text from ERIC」の表記がある場合は、本文を見ることが可能。
5	IRDB	日本の大学等の学術機関のリポジトリに蓄積された学術情報(学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等)を横断的に検索可能。(国立情報学研究所)
6	J-STAGE	日本の学会関係の電子ジャーナル提供サイト。参加学会の学会誌、会議録等を提供。(科学技術振興機構)
7	LISTA(Library, Information Science & Technology Abstracts)	図書館学・情報科学のデータベース。560以上の専門誌や50冊近くの重要誌、厳選した約125の雑誌に加え、書籍や研究レポート、会議録などの索引データで構成。*本文はなし
8	MEDLINE(EBSCOhost)	世界最大の医学文献情報データベース。National Library of Medicine(米国国立医学図書館)製作によるMEDLINEのEBSCO社版。*本文はなし
9	OAIster	世界各国の大学等の学術機関に蓄積された学術情報(学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等)を検索できるデータベース。本文提供サイトへ直接リダイレクト。(OCLCが運営)
10	雑誌記事索引(Japanese Periodical Index)	国立国会図書館が収集・整理した国内刊行和文雑誌(一部外国刊行和文雑誌・国内刊行欧文雑誌を含む。新聞記事をのぞく)から作成した索引データのデータベース。(国立国会図書館) *本文はなし
11	OPAC	放送大学附属図書館及び学習センター図書室等が所蔵する図書、雑誌、視聴覚資料等を検索できる。(放送大学附属図書館)
12	各出版社の電子ブック・電子ジャーナル	Elsevier、SpringerNature、Wiley、IEEE、CambridgeCore等世界の出版社からの文献や、日本のMaruzen eBook Library、KinoDen等を含む電子ブック等の統合情報。本学で契約している電子ブック、電子ジャーナルについては読むことが可能。詳細は「3. 海外の論文・記事・情報を探す」、「5. 電子ブックを使う」を参照

ディスカバリーサービスにアクセス

放送大学附属図書館ホームページからアクセスします。なお、利用の際はPCでの利用を推奨しております。また、自宅など学外から使用される場合は、リモートアクセス(3ページ参照)でログインした状態でないと、最適なサービスが得られない場合があります。以下の内容を参考にしてください。



注意! 自宅など学外からアクセスした場合は、リモートアクセスのサービスをご利用ください。入力するID、パスワードは、システムWAKABAと同じID、パスワードです。

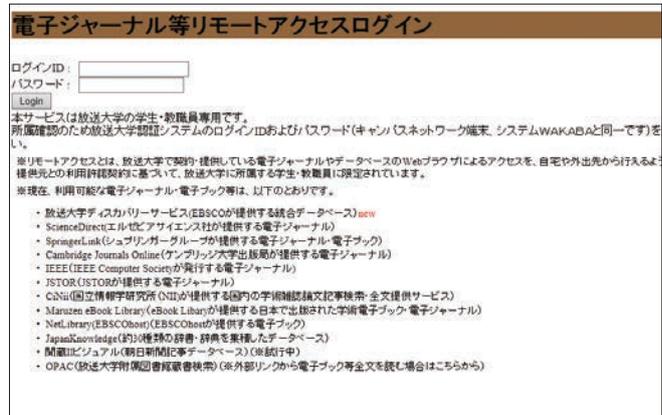
【自宅など学外からアクセスする場合】

自宅等から利用する場合は、リモートアクセスのサービスを利用してください。

また、サーバーが自動的に「学外からのアクセス」と判断した場合は、右の画面(①)が表示されます。その場合は、システムWAKABAと同じIDとパスワードを入力してください。

また、右下のような画面(②)が出ている場合も「ログインしてください。ログインすると制限なくご利用いただけます」をクリックして同じようにログインすると学内と同じようにサービスが受けられます。

①リモートアクセス画面



②学外からアクセスしているときの表示



ここをクリックしてログイン

ディスカバリーサービスを使ってみる

ここでは、ディスカバリーサービスの使い方を簡単に説明します。詳しい説明はマニュアルを参照してください。(マニュアル https://lib.ouj.ac.jp/search/OUJ_EDS_manual.pdf)

ディスカバリーサービスのトップページは以下のように表示されます。

検索ボックスに検索したいキーワードを入力して**検索ボタン**をクリックすると検索できます。**検索オプション**と**詳細検索**をクリックすると、検索方法(入力した順どりの検索、AND検索、OR検索など)や検索条件(フルテキストに限定、放送大学蔵書限定、出版年など)の設定ができます。なお、これらの条件は検索した結果画面のサイドメニューからも追加できますので、最初は、検索ボックスにキーワードを入れるだけでもかまいません。

放送大学ディスカバリーサービストップページ

The screenshot shows the homepage of the Ouj.ac.jp discovery service. At the top, there is a navigation bar with links for 'ディスカバリーサービス', '放送大学図書館', '電子資料タイトル検索', 'MyEBSCOhost', 'フォルダ', 'ユーザー設定', '言語', '簡易マニュアル', and 'ヘルプ (英語オリジナル版)'. The main content area features the '放送大学' logo and a search box with the text '検索中: 放送大学ディスカバリーサービス'. The search box contains a 'キーワード' field with the placeholder 'キーワードを入力' and a '検索' button. Below the search box are links for '検索オプション', '基本検索', '詳細検索', and '検索履歴'. On the left side, there is a section titled '【放送大学ディスカバリーサービスとは】' with sub-sections for '【検索対象データベース】' and '【検索対象データベースリスト】'. On the right side, there is a section titled '※放送大学ディスカバリーサービスは現在、以下のDB(データベース)をまとめて検索することができます。各DBを直接検索をして下さい。' followed by a list of databases and a note about remote access.

ウィンドウのサイズが小さい場合、メニューが「≡」マークになります。

【放送大学ディスカバリーサービスとは】

図書館で所蔵している図書や雑誌といった紙媒体や電子ブック、電子ジャーナルといった電子的資料など様々なリソース(資料)を対象とした検索エンジンで、必要が連絡を随時と発見することが可能です。

【検索対象データベース】

●検索対象データベースリスト

(学外からの利用について)

学外(自宅など)から放送大学ディスカバリーサービスを利用し、本文(PDF、HTML)を参照するにはログインが必要な場合があります。こちら(リモートアクセス)でログインをお願いします。

【マニュアル】

- (放送大学版)簡易マニュアル
- ヘルプ(英語オリジナル版)

※放送大学ディスカバリーサービスは現在、以下のDB(データベース)をまとめて検索することができます。各DBを直接検索をして下さい。

【対象外DB】

- 聞蔵II(朝日新聞DB)
- ジャパンレレッジLib
- 日経BP記事検索サービス
- 日経 Value Search
- D1-law.com(法律判例文献情報)

※ 直接、各データベースを検索する場合は、以下から選べます。

●学内から利用できるものはこちら ●自宅等の学外から利用する場合はこちら

5ページで紹介した**検索対象データベースリスト**はここから見るができます。

自宅など学外からの接続の場合は、必ず、**リモートアクセス**でログインしてから利用してください(システムWAKABAと同じID、パスワードです)。

放送大学で用意したマニュアルとサービス提供元であるEBSCO社で用意した英語のマニュアルのWebサイトをここから見るができます。

検索結果から文献の表示まで

実際に検索してみます。以下、検索例をご覧ください。

- 1) 著者名と限定条件「フルテキスト(全文)あり」の条件で検索します。
- 2) 検索結果に読みたい文献がありました。その表示データには、**JSTAGEをみる**のアイコンが出ています。このように、各データベースの名前のアイコンが出ている場合、閲覧ができる可能性が高いので、そのアイコンをクリックします。
- 3) すると、その文献を持っているデータベース「J-STAGE」にリンクし、文献が表示されます。

検索結果画面

このように、うまく文献にたどり着く場合もありますが、そうでない場合もあります。その時は、**関連情報を見る**を選ぶとその他のツールを紹介するページになります。そこから、附属図書館へ文献の複写申込もできますので、ぜひ、ご利用ください。

皆様が新しい発見(ディスカバリー)に出会えることを期待しております!

検索エンジン

TOPICS-1

前章では、ディスカバリーサービスについて紹介しましたが、皆さんがインターネットを使って調べる時にはどのWebサイトを使っているのでしょうか？ Yahoo!JAPANでしょうか？ GoogleそれともBingでしょうか？ 今、でてきた名前は「検索エンジン」と呼ばれるサイトです。その中でもGoogleは国内外で広く使われており、皆様の中にも普段からお使いの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ここをクリック

● Google Scholar

(<https://scholar.google.com/>)

Googleの機能の中で、学术论文などの学術情報に特化した検索エンジン。学術専門誌、論文、図書、要約など、さまざまな分野の学術資料を検索できます。検索結果は、引用された回数の多い順に並べられるので、有用な論文などを見付けることができます。



画像1 Google Scholar

● Google Scholar 検索のコツ

簡単ではありますが、検索のコツをいくつか紹介します。

① 詳細検索 (検索オプション) を使う！

Google Scholarの画面左上にある「≡」をクリックしてメニューの「検索オプション」を選択すると、画像2のような検索オプションウィンドウに変わります。この画面から、単語による検索、フレーズ(文章)、OR検索、NOT検索(除外する語を指定する検索)、著者、出典(資料名)、日付などの検索ができます。



画像2 検索オプション

② ファイルタイプを指定して

必要な文書やファイルを検索する！

例:

例のように、「filetype:」の次にPDF、DOCX、PPTXなどファイルタイプを指定できます。

③ 引用元から探す！

Google Scholar の検索結果に「引用元」という文字が出てきます。この文字をクリックすると、その文献を引用している文献のリストにリンクします。このように関連する文献を次々と探せます。

● Google Scholar のメリット

放送大学ディスカバリーサービスは、放送大学で見ることができる(可能性が高い)資料を検索するのに適したツールだとすると、Google Scholarは放送大学の所蔵に関係なく広い検索ができ、放送大学にない(見ることができない)資料も探すのに適しています。放送大学ディスカバリーサービスで見つからない場合は、Google Scholar、Google(<https://google.com/>)の順番で探すことをおすすめします。

なお、Google Scholarおよび掲載されているコンテンツは一般に公開されているものであり、放送大学とはまったく関係ありません。

3

海外の論文・記事・情報を探す

放送大学で契約している海外の電子ジャーナル

放送大学では、Elsevier社のScienceDirectやSpringer Nature社のSpringerLinkなど、いくつかの海外電子ジャーナルを契約しています。インターネットに接続されたパソコンから、それぞれのWebページにアクセスすると、収録されている論文のタイトルや著者名での検索はもちろん、論文本文中の語句からも検索することができます。*

検索結果には、書誌情報(論文名・著者名・掲載誌のタイトル等)だけでなく、抄録(Abstract)へのリンクもあり、タイトルだけではわからない内容も確認できます。放送大学で購読しているタイトルについては、論文本文もパソコンの画面上で閲覧し、印刷することができます。また、冊子版の発行よりも前に閲覧することができる論文も一部あります。

*自宅等、放送大学のキャンパス外から利用される場合は、リモートアクセス(3ページ参照)にログインしてからご利用ください。ただし、一部リモートアクセスに対応していない電子ジャーナルサービスもあります。

【ScienceDirect(サイエンス・ダイレクト)】 リモートアクセス可

Elsevier社が提供する2,700タイトル以上の雑誌論文を検索できる、フルテキストデータベースです。放送大学では、①Biochemistry, Genetics and Molecular Biology、②Computer Science、③Economics, Econometrics and Finances、④Health Science、⑤Neuroscience、⑥Psychology、⑦Physics and Astronomy、⑧Social Scienceの8サブジェクト・コレクションを購読しており、購読分約1,900タイトルと無料提供分約500タイトルを合わせた、約2,400タイトルの雑誌の論文を閲覧することができます。

[リンク先]<https://www.sciencedirect.com/>

[マニュアル・ガイド]https://www.elsevier.com/ja-jp/solutions/sciencedirect/sciencedirect_for_user#user_guide

使い方(抜粋)

①トップ画面

The screenshot shows the ScienceDirect homepage. At the top, there is a search bar with the text "Search for peer-reviewed journals, articles, book chapters and open access content." Below the search bar, there are several input fields: "Keywords", "Author name", "Journal/book title", "Volume", "Issue", and "Page". A red box highlights the search bar area with the text "キーワード等で検索". Below the search bar, there is a navigation menu with categories: "Physical Sciences and Engineering", "Life Sciences", "Health Sciences", and "Social Sciences and Humanities". A red box highlights the "Physical Sciences and Engineering" category with the text "分野や雑誌のタイトルから一覧することもできます." Below the navigation menu, there is a list of sub-categories under "Physical Sciences and Engineering": "Chemical Engineering", "Chemistry", "Computer Science", "Earth and Planetary Sciences", "Energy", "Engineering", "Materials Science", "Mathematics", and "Physics and Astronomy". To the right of this list, there are sections for "Popular Articles" and "Recent Publications".

②キーワードを入力して検索してみます。検索結果一覧が表示されました。

The screenshot shows the ScienceDirect search results page for the query "social and environmental reporting". The page displays 394,781 results. On the left, there are filters for "Refine by:" including "Subscribed journals", "Years" (2022 (6), 2021 (1,926), 2020 (35,795)), "Article type" (Review articles, Research articles, Encyclopedia, Book chapters), and "Publication title" (Journal of Cleaner Production, Energy Policy). The main results list includes:

- Research article with "Full text access" (highlighted in red): "Evaluating the corporate environmental profile by analyzing corporate social responsibility reports" from Economic Analysis and Policy, June 2020.
- Research article with "Open access" (highlighted in red): "Profiling outpatient staff based on their self-reported comfort and preferences of indoor environment in six hospitals" from Building and Environment, 15 October 2020.
- Conference abstract with "Open access" (highlighted in red): "RPM Releases First Social, Environmental..." from Focus on Powder Coatings, October 2020.

Red boxes highlight the "Full text access" and "Open access" labels. A legend box on the right explains these labels:

- Full text access ...購読タイトル(全文閲覧可)
- Open access ...無料公開論文(全文閲覧可)
- ※表記なし ...非購読タイトル(全文閲覧不可)

③一覧画面から、タイトル部分のリンクをクリックすると詳細が表示されます。
(②の画面の1件目を詳細表示しています)

The screenshot shows the detailed article page for "Evaluating the corporate environmental profile by analyzing corporate social responsibility reports" from Economic Analysis and Policy, Volume 66, June 2020, Pages 63-75. The page is divided into several sections:

- Outline:** A table of contents showing sections like Introduction, Theoretical background, Corporate Environmental Profile Methodology, Empirical analysis, Discussion, and Conclusion. A red box highlights this section with the label "アウトライン".
- Full length article:** The main title and authors (Thomas A. Tsalis, Ioannis E. Nikolaou, Fotini Konstantakopoulou, Ying Zhang, Konstantinos I. Evangelinos) are displayed. A red box highlights this section with the label "抄録 論文全文(購読誌・無料誌の場合)".
- Abstract:** A short summary of the article's content. A red box highlights this section with the label "抄録 論文全文(購読誌・無料誌の場合)".
- Recommended articles:** A list of related articles with "Download PDF" and "View details" links. A red box highlights this section with the label "おすすめの論文 被引用情報".
- Citing articles (1):** A list of articles that cite the current article.
- Article Metrics:** Information about the article's impact, including citations.

【SpringerLink(シュプリンガー・リンク)】 リモートアクセス可

STM(科学・技術・医学)分野を中心に提供するSpringer Nature社の電子ジャーナル・ブックのデータベースです。Springer Nature社が提供する雑誌のうち約1,600タイトル(1997年以降分)と、約1,000タイトルの初号から1996年までの発行分を閲覧できます。

また本学では、レクチャーノートシリーズ(Lecture Notes in Computer Science, Lecture Notes in Mathematics, Lecture Notes in Physics)を含むSpringer Nature社の出版する電子ブック約55,000タイトル(2005-2019年出版)も閲覧することができます。

電子ジャーナル・ブックを、同一の画面からまとめて検索することができます。

[リンク先]<https://link.springer.com/>

[マニュアル・ガイド]<https://www.springernature.com/jp/librarians/promote-your-content/springer-journals>

【Nature(ネイチャー)】 リモートアクセス可

SpringerNatureグループが提供する国際的に著名な科学分野の総合学術雑誌です。

Nature本誌のみ、2017年(Vol.541, No.7635)以降を閲覧できます。

2016年以前の号は紙の雑誌をご利用ください。

[リンク先]<https://www.nature.com/nature/>

【Cambridge Core(ケンブリッジ・コア)】 リモートアクセス可

Cambridge University Pressが発行する、340タイトル以上の雑誌論文が検索できるデータベースサービスです。本学ではHSS(人文社会科学)パッケージを購読しており、“Historical Journal”や“Journal of Social Policy”など、人文・社会科学分野の約260タイトルの電子ジャーナルについて、全文まで閲覧することができます。

[リンク先]<https://www.cambridge.org/core/>

[マニュアル・ガイド]<https://www.cambridge.org/core/help/user-guides-and-videos>

【JSTOR(ジェイストア)】 リモートアクセス可

主要学術ジャーナルで構成された、信頼性の高いアーカイブの作成と維持を使命に設立された、非営利団体JSTORによって提供されている電子ジャーナルサービスです。アーカイブ(バックナンバー)を提供するサービスのため、最新号は原則提供されておらず、発行から一定期間(MOVING WALLとよばれる。概ね1~5年)を経た論文を閲覧することができます。MOVING WALLの年数は、掲載誌ごとに異なります。

本学ではArts & Sciences I Collectionという、経済学、歴史学、政治学、社会学、言語学、教育学など人文社会科学系のほか、環境学、数学、統計学分野の重要115タイトルが収録されたパッケージを購読しています。

[リンク先]<https://www.jstor.org/>

[購読タイトル・範囲]<https://www.jstor.org/librarians/products/journals/multi-discipline#as>

このほか、コンピュータサイエンスとコンピュータ工学に関する定期刊行物を収録しているIEEE Computer Society Digital Library(IEEE CSDL)のPeriodicals Package や、個別契約の電子ジャーナルなども購読しています。35-38ページ『文献情報等探索ツール一覧表』や図書館のホームページにある「電子ブック・電子ジャーナル」のページもあわせて参照してください。

無料で利用できるデータベース

無料で利用できるデータベースとして、特に医学系の学術論文情報をさがすのに有用なPubMedについての紹介と、その使い方を簡単に説明します。医学に限らず、それぞれの分野に特化したデータベースもありますので、指導担当の先生にその分野のデータベースを教えてくださいたいのもよいかもしれません。

[PubMed(パブメド)]

NLM(米国国立医学図書館:National Library of Medicine)内の、NCBI(国立生物科学情報センター:National Center for Biotechnology Information)が作成している、医学系論文をさがすのに有用なデータベースです。世界の主要な医学関連雑誌(約7,400誌)に掲載された9,000万件以上の学術論文情報を検索することができます。収録範囲は1946年以降現在まで、週5日の頻度で更新されていますので、日々新しい情報が追加されています。

[リンク先]<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/>

使い方(抜粋)

①トップ画面

The screenshot shows the PubMed.gov homepage. At the top, there is a search bar with the text 'Search PubMed' and a 'Search' button. Below the search bar, there are four main navigation buttons: 'Learn', 'Find', 'Download', and 'Explore'. The 'Learn' button is highlighted with a red box and labeled '使い方はここを参照'. The search bar is also highlighted with a red box and labeled 'キーワード等で検索'.

②検索結果一覧画面

The screenshot shows the PubMed search results page for the keyword 'vegf'. On the left side, there is a 'FILTERS' section with a 'RESULTS BY YEAR' chart and 'TEXT AVAILABILITY' options. The 'FILTERS' section is highlighted with a red box and labeled 'フィルター'. The main search results are listed on the right, starting with '35,460 results'. The first result is 'VEGF in Signaling and Disease: Beyond Discovery and Development.' and the second is 'Vascular endothelial growth factor (VEGF) - key factor in normal and pathological angiogenesis.' The search results are highlighted with a red box and labeled '検索結果一覧'.

※フィルターについて

例えば、TEXT AVAILABILITYにある「Free full text」をチェックすると(クリックすると、✓マークがつきます)、オープンアクセス誌(無料で読める電子ジャーナル)などに掲載されている論文のみに絞りこむことができます。

またAdditional filtersをクリックすると、表示されていないその他のフィルター項目をみることができます。例えば、Additional filters をクリック後、LANGUAGEをクリックし、表示されている言語のうち「English」にチェックをいれると、英語で書かれた論文のみ検索することができます。

③詳細画面

検索結果一覧画面に表示された論文の、タイトル部分のリンクをクリックすると、詳細画面が表示されます。(②の3件目を表示しています。)

画面右上にあるフルテキストリンク(バナー)をクリックすると、出版社のサイトやPMC (NCBIが運営する無料論文アーカイブ)のページなどにとびます。この論文の場合は、掲載誌を放送大学で契約しているため出版社のサイト上で本文全文をダウンロードできます。また、PMCのページから無料でダウンロードすることもできます。

The screenshot shows a PubMed article page. The search bar at the top contains 'veg' and the search button is labeled 'Search'. Below the search bar, there are buttons for 'Save', 'Email', 'Send to', and 'Display options'. The article title is 'VEGF in Signaling and Disease: Beyond Discovery and Development' by Rajendra S Apte, Daniel S Chen, and Napoleone Ferrara. The abstract is visible below the title. On the right side, there are sections for 'FULL TEXT LINKS' (with 'Cell Press OPEN ACCESS' and 'PMC Full text' buttons), 'ACTIONS' (with 'Cite' and 'Favorites' buttons), and 'SHARE' (with social media icons). Red boxes and labels highlight specific features: '書誌情報' (Bibliography information) points to the citation information; '論文リンク' (Article link) points to the 'PMC Full text' button; and '抄録' (Abstract) points to the abstract text.

[zbMATH(ジーブーマス)]

数学分野の1868年から現在までの350万件以上のデータが検索できる数学文献データベースです。年間約12万件の新しい情報が追加されています。

[リンク先]<https://zbmath.org/>

[Directory of Open Access Journals(DOAJ)]

全分野のオープンアクセス誌(無料電子ジャーナル)へのリンク集です。約1万5千タイトルのオープンアクセス誌が登録されていて、うち約1万2千タイトルについては論文単位で検索することができます。

[リンク先]<https://doaj.org/>

国内の論文・記事・情報を探す

日本語の論文やデータを調査するには

ここでは、日本の学術論文を中心とした研究情報提供サービス「CiNii Research」、日本の各府省が公表する統計データを包括的に検索・利用可能な「e-Stat」、事典・辞書を中心とした知識情報データベース「ジヤパンナレッジLib」について紹介します。

【CiNii Research(サイニイ・リサーチ)】

NII(国立情報学研究所)が提供する日本の学術論文を中心とした研究情報提供サービスです。①学協会刊行物掲載論文と、②国内大学等が刊行する研究紀要、③国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどを含む膨大なデータから論文を調査することができます。①②については論文本文を閲覧でき、連携協力している他サービスの論文本文等へのリンクもあります。

[リンク先] <https://cir.nii.ac.jp/>

[マニュアル・ガイド] https://support.nii.ac.jp/ja/cir/manual_outline

[注意事項] 学外から利用する場合、まずリモートアクセス(3ページ参照)にログインします。(附属図書館ホームページ <https://lib.ouj.ac.jp/>の右下にあるCiNiiのバナーをクリックしてもよい)CiNii画面上右上に“放送大学学園”と表示があれば学内と同環境となります。

使い方(抜粋)

- ①附属図書館ホームページにあるCiNiiバナー  あるいは「電子ブック・電子ジャーナル」のページのデータベース名をクリックします。
- ②簡易検索の画面が最初が開くので、論文を探す場合は検索窓下の「論文」を選び、キーワード等を入力し「検索」ボタンをクリックします。または検索窓右下の“詳細検索”をクリックし検索します。いずれの画面でも、画面右上に“放送大学学園”と表示があれば学内と同じ環境です。また本文がある論文に制限したい場合、“本文あり”などのボタンも併せてクリックし、検索してください。

CiNii「詳細検索」画面

論文タイトル・著者名・キーワード等を入力し、検索ボタンを押して検索します。

ヘルプ

検索方法についての詳細はヘルプで確認できます。

③ 検索結果の一覧が表示されます。タイトルをクリックすると、詳細表示画面に移動します。

このスクリーンショットは、CiNiiの検索結果一覧画面を示しています。左側のナビゲーションメニューには「データ種別」で「論文」が選択されており、「本文・本体へのリンク」や「資源種別」などのオプションがあります。検索結果は6件表示されており、最初の論文「検索エンジンの未来：検索エンジンは妖怪『覚』の夢を見るか<特集>『検索』のゆくえ」が強調されています。この論文のタイトル、著者「森 大二郎」、および「情報の科学と技術」63(1), 9-14, 2013という情報が表示されています。また、DOIや「放送大学関連情報」などのリンクも提供されています。右側の赤い枠には「一覧の表示件数や表示順を変更できます。」とあり、「20件表示」や「出版年:新しい順」のメニューが示されています。論文の本文リンクがある場合、DOIや「放送大学OPAC」などのアイコンが表示され、これらは「本文リンクがある場合、連携サービスの各アイコンが表示されます。」と説明されています。論文の詳細表示画面へのリンクも示されています。また、論文提供外部サイトへのリンクも示されています。右側の赤い枠には「刊行物名、巻号、ページ、出版年が表示されます。」とあり、論文のメタデータが示されています。

DOI、機関リポジトリ、HANDLEをクリックすると、リンク先の大部分で本文が利用できます。

本文を閲覧できない場合は「放送大学OPAC」をクリックし、掲載されている雑誌等の放送大学内所蔵を探すこともできます。または「放送大学関連情報」をクリックし、附属図書館への複写申込や関連情報からの検索などを行ってください。

「放送大学関連情報」画面

このスクリーンショットは、「放送大学関連情報」画面を示しています。この画面では、検索された論文に関する関連情報や検索オプションが提供されています。左側のナビゲーションメニューには「リンクリソルバ」や「ターゲット画面」などのオプションがあります。右側の赤い枠には「OPAC, CiNii Booksなど、学内・学外の所蔵検索ができるページにリンクしています。」とあり、「放送大学・他館の所蔵を探す」や「放送大学図書館蔵書検索」などのリンクが示されています。また、「文献複写を図書館に依頼する (有料) *初めての申し込みの方は取り寄せページをご確認ください。」というオプションも提供されています。右側の赤い枠には「放送大学附属図書館経由で文献複写を取寄せたい場合、ここをクリックしてください(複写依頼画面の前に、先に放送大学ログインのページが開きます)。(複写は有料です。)」とあり、「放送大学附属図書館蔵書検索」のリンクが示されています。

【検索のヒント】

① キーワードの入力

(例)「短期記憶」または「長期記憶」を論題に含む論文を検索する場合、**短期記憶 OR 長期記憶** と入力します。

CiNii Research「詳細表示」画面

「短期記憶」を含むが、「長期記憶」は論題に含まない論文を検索したい場合、**短期記憶 NOT 長期記憶** と入力して検索します。(ORやNOTの前後に、空白文字(半角または全角)が必要です。)

② CiNii Research トップページ左下にある「収録データベースについて」をクリックすると、CiNii Research に収録されているデータベースの情報を調べることができます。

データベース名 (提供機関)	収録データベース記号	収録データ種別	解説
Japan Link Center	JaLC	論文 研究データ	国内学術機関の4機関が共同で運営する、電子化された学術論文、書籍、論文付随情報、研究データなどにDOIを登録し、コンテンツの所在情報 (URL) 等とともに管理するサービス。出版社が持つ論文本文へのリンクを提供しています。他のデータベースからの収録データにのみ、JaLCが提供するデータを使用してJaLCの該当論文情報へのリンクを表示しています。当該論文の表示資格がある場合は本文を見ることができます。
学術機関リポジトリデータベース	IRDB	論文 研究データ	国内の大学等による、自機関の構成員による成果等を収集し公開しているデータベースです。国立情報学研究所では国内の機関リポジトリの統合検索サービスIRDBを提供していますが、そのデータの中から論文にあたるものはCiNii Researchでも検索可能にしています。
雑誌記事索引データベース	NDL	論文	国立国会図書館が収集する国内刊行の雑誌のうち、学術誌・大学紀要・専門誌を中心として、人文・社会/科学・技術/医学・薬学と、あらゆる分野の記事に関するデータを収録した国内最大の記事索引データベースです。
国立国会図書館デジタルコレクション	NDL-Digital	論文	国立国会図書館デジタルコレクションの記事本文を検索・閲覧できるサービスです。
Crossref	Crossref	論文	学術出版社が共同出資する非営利団体が運営する、電子ジャーナルへのリンクを一元的に管理するサービ

【ジャパンナレッジLib】

辞書・事典など約100のコンテンツを含む日本最大規模の知識情報データベースです。『日本大百科全書(ニッポニカ)』や『日本国語大辞典』といった百科事典、国語辞典のほかにも、英語やラテン語の辞典、『法律用語辞典』など専門辞書・事典も収録しています。また『東洋文庫』や『週刊エコノミスト』など、図書・雑誌も収録されています。紙の辞書・事典とは違い、見出し語だけでなく、本文の中に書かれている言葉から検索することができます。

【リンク先】 <https://japanknowledge.com/library/>

【マニュアル・ガイド】 <https://japanknowledge.com/support/lib/guide01.html>

【注意事項】 同時に使えるユーザー数が4名までです。5番目以降の利用者は、ログインすることができません。しばらく待ってから、再度アクセスしてください。また、利用終了後は画面右上にある「ログアウト」ボタンをクリックして終了してください。ご自宅等、学外から利用される際は、リモートアクセス(3ページ参照)にログインした後にご利用ください。

使い方(抜粋)

- ① 附属図書館のホームページ「電子ブック・電子ジャーナル」にあるデータベース名をクリックします。ジャパンナレッジLibの画面が表示されたら「ログインする」のボタンをクリックしてください。
- ② ログイン後に以下のような基本検索画面が表示されます。最初は、ジャパンナレッジLibによって選ばれた単語が入っていますので、検索対象(「見出し」か「全文」)をプルダウンで選択し、検索語を入力したのちに、「検索」ボタンをクリックしてください(下の画面では検索対象を「全文」として、「放送大学」を検索した結果が表示されています)。検索結果のリンク(青字部分)をクリックすると、詳細が表示されます。利用終了後は必ず画面右上にある「ログアウト」ボタンをクリックして、終了してください。

ジャパンナレッジLib「基本検索」画面

利用終了時は必ず「ログアウト」をクリック。

検索語の入力

検索結果一覧表示順は検索結果上部で切り替えられます。

【e-Stat(政府統計の総合窓口)】

総務省統計局が中心となり、独立行政法人統計センターが管理運用しているWebサイトで、日本の各府省が公表している統計データをまとまった形で検索・閲覧・利用ができます。

「日本の政府統計に関する情報のワンストップサービスを実践」と「社会の情報基盤たる統計をだれでも利用しやすいかたちで提供」を目的としているため、いろいろなやり方でユーザを導くようなWebサイトのつくりになっています。「貿易統計」、「国勢調査」、「作物統計調査」、「人口動態調査」、「経済センサスー活動調査」、「労働力調査」、「学校基本調査」等、これらの統計データが過去分も含め公開され、データによってはExcelなどのソフトウェアで利用できるものもあります。ぜひ、試してみてください。

[リンク先] <https://www.e-stat.go.jp/> (e-Stat 政府統計の総合窓口)

[マニュアル・ガイド] <https://www.e-stat.go.jp/help/> (『e-Stat』とは?)

<https://www.e-stat.go.jp/usageguide/> (利用ガイド)

[注意事項] 統計のデータは、各府省での調査結果に基づいたデータが作成・公表されています。統計調査によっては毎年ではなく、一定の期間おきに行われる調査もあります。そういった統計の調査の性質や調査項目の概要については各府省のWebサイトで確認してください。

使い方(抜粋)

統計については、各種いろいろありますので、使い方については、以下の4つのケースで調べ方の指針を紹介します。

① 調べたい統計資料が決まっている場合

既に調べたい統計資料の具体的な資料名や項目がわかっている場合は、e-Stat のトップページや各府省のWebサイトの統計データを直接見に行ったほうがよいでしょう。

下の画像がe-Stat のトップページです。調べたい資料がわかっている場合は、「**キーワード検索**」のボックス欄に資料名を直接入力して検索すると早いです。また、検索結果一覧の統計名の右にある*i*(説明を表示)のアイコンをクリックすると、統計の説明や各府省の統計ページのURLなどがわかります。各府省の統計ページでは、調査の概要や項目の意味合いなどを確認できます。

The screenshot shows the e-Stat homepage with the following elements:

- Header: e-Stat logo, "統計で見る日本", and navigation links for "お問い合わせ", "ヘルプ", and "English".
- Search Section: "統計データを探す" with buttons for "すべて", "分野", and "組織". A keyword search box contains "例: 国勢調査".
- Usage Section: "統計データを活用する" with buttons for "グラフ", "時系列表", "地図", and "地域".
- Right Sidebar: "利用ガイド" and "統計データの高度利用" (including "マイクロデータの利用").

The screenshot shows search results for "国勢調査" (Census of Population and Housing). The results table is as follows:

政府統計コード	政府統計名	説明を表示
00200521	国勢調査	<i>i</i>
00200524	人口推計	<i>i</i>
00600160	建築物実態調査	<i>i</i>
00600161	増改築・改築等調査	<i>i</i>

②資料名がわからないが、知りたいことを漠然と考えている場合

分野から統計を探すことができます。

[分野から探す] <https://www.e-stat.go.jp/statistics-by-theme/>

「国土・気象」「人口・世帯」「労働・賃金」などの17の分野から統計資料を探すことができます。調べたい統計と関連しそうな分野をクリックすると、その分野の統計一覧が表示されますので、そこから統計名で目的の資料を見つけられます。



③統計データをいろいろなかたちで利用したい!

統計資料を元にグラフを作成したり、地図上に表示させたり、データをカスタマイズして利用できます。

[グラフ] <https://dashboard.e-stat.go.jp>

[時系列表] <https://dashboard.e-stat.go.jp/timeSeries>

[地図] <https://www.e-stat.go.jp/gis>

[地域] <https://www.e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsview>

トップページの「統計データを活用する」の項目にある「グラフ」「時系列表」「地図」「地域」の4つのメニューから利用方法を選択してください。グラフの作成、特定指標の時系列順表示、統計データの地図への出力、地域別ランキングの作成など、多様な方法でデータを活用できます。



④継続的に使いたい!

継続的にe-statを使いたい場合は、ユーザ登録をすると便利です。

[「ユーザー登録」] <https://www.e-stat.go.jp/help/mypage/user/preregister>

ユーザ登録(メールアドレス等を登録)をすると、自分が知りたい統計等の新着情報をメールで受け取れます。また、自分で設定した統計レイアウトや検索履歴、検索条件を保存したり、ダウンロード履歴を表示するマイページ機能も利用できます。継続的に統計データを見たい方は、ぜひ、ご利用ください。



5

電子ブックを使う

電子ブックを利用する

電子ブックは、紙に印刷された冊子体の図書ではなく、インターネットを経由して、パソコン等の画面で閲覧する書籍です。インターネットが使える環境であれば、いつでもどこからでも、場所や時間の制限なく、利用したいそのときに利用することができます※。また、目次や索引だけでなく、図書の本文から検索することができるなど、紙の資料ではできない使い方、読み方もできます。

この章では、放送大学で契約している3つの電子ブックサービスについて、紹介します。

※自宅等、放送大学のキャンパス外から利用される場合は、リモートアクセス(3ページ参照)にログインしてからご利用ください。

[EBSCO eBooks]

EBSCO社が提供する電子書籍サービスです。日本語だけでなく、英語を中心とした海外の電子書籍も併せ、約16,000タイトルの電子書籍を利用できます。

同一タイトルを同時に閲覧できるのは1名までです。閲覧終了時は画面左上の「新規検索」のリンクをクリックして、全文表示を終了してください。コンテンツ毎に指定されたページ数まで本文のダウンロードと印刷が可能です。(一部のタイトルは印刷・保存不可)

EBSCOhostにサインイン(事前にEBSCOhostのアカウント新規作成が必要)すると、ノートの保存や検索結果をフォルダに入れて管理する等を行うことができます。

The screenshot shows the EBSCO eBooks search interface. At the top, there's a search bar with the text '現代大学の改革と政策' and a '検索' button. Below the search bar, there are options for 'AND' and 'フィールドの選択'. The search results section shows a list of books, with the first one highlighted: '現代大学の改革と政策: 歴史的・比較的考察' by 喜多村和之. A red box points to the 'PDF全文' button, with the text 'PDF形式で本文を保存(ファイルを指定アドレスに送信)'. Another red box points to the '引用' button, with the text '書誌情報(タイトル・著者名等)を引用形式に合わせて表示、エクスポートできます。'. A third red box points to the 'ページの保存' button, with the text 'ページの表示変更(拡大・縮小) ページめくり(<>で前後移動)'. The bottom part of the screenshot shows a preview of the book cover, which features a globe and the title '現代大学の改革と政策'.

[KinoDen (Kinokuniya Digital Library)]

紀伊國屋書店が提供する電子ブックサービスで、日本の学術図書約480点が利用できます。

同一タイトルを同時に閲覧できるのは原則1名です。コンテンツ毎に指定されたページ数まで本文のダウンロードと印刷が可能です。(一部のタイトルは印刷・保存不可)

トップ画面では直接タイトルを入力するほか、新着タイトル、人気タイトルの書籍アイコンから選択することもできます。閲覧前に簡単な内容紹介、目次、著者紹介を見ることもできます。

タイトル等から検索の場合こちらに入力

検索ボタンを押すとこちらの画面が展開

書籍アイコンをクリックするとこちらの画面が展開。

本文

[Maruzen eBook Library]

丸善株式会社が提供する電子ブックサービスで、日本の学術図書を中心に約11,000点を利用することができます。

同一タイトルを同時に閲覧できるのは原則1名まで、コンテンツ毎に指定されたページ数まで本文のダウンロードと印刷が可能です。(一部のタイトルは印刷・保存不可)

検索入力する際には「購読契約しているタイトルから検索」にボタンを切り換えます。

また「購読契約タイトル一覧」から閲覧可能となる図書を探すこともできます。

電子ブックの閲覧終了時は画面右上の「閲覧終了」ボタンをクリックしてください。

Maruzen eBook Libraryは、学術書籍に特化した機関向け電子書籍配信サービスです。

〇 すべてのタイトルから検索 ● 購読契約しているタイトルから検索 (購読契約タイトル一覧)

本文 森林セラピー 検索

出版年

- 2018
- 2015
- 2012
- 2011
- 2010

出版社/提供元

ジャンル

カウンセリング実践ハンドブック

開覧

著編者 松原 達哉/日本カウンセリング学会 (編)

出版社/提供元 丸善出版

出版年 2011

ISBN 9784621083017

ダウンロード: 可

...生を防止する。◎森林セラピーと講義によるメンタルヘルスの座学講座とともに方法を学び、気づかない疲れ...

目次

- 目次
- 巻紙
- カウンセリング実践ハンドブック
- 巻紙のことば
- 編集委員一覧
- 著者一覧
- 目次
- 1. カウンセリングの基礎と社会状況
- カウンセリングの基礎概念
- カウンセリングの歴史とカウンセリングの三つのアプローチ
- 2. カウンセリングの実践
- カウンセリングの過程
- カウンセラーの養成
- カウンセリングと心理療法
- カウンセラーの職業
- カウンセリングの歴史
- 家族を中心としたカウンセリング
- 社会的背景
- 認知行動的カウンセリング
- 精神分析的カウンセリング
- 心理療法
- 短 語
- カタルシス
- 不 安
- トラウマ (心的外傷)
- グループカウンセリング
- 家族療法
- 芸術療法 (art therapy)
- 音楽療法
- 絵画療法
- 書道療法
- 職業療法
- 内観療法
- フェーシング
- 家族カウンセリング
- グループカウンセリング
- グループカウンセリング
- 臨床心理学

共有 エクスポート 印刷/保存

共有 エクスポート 印刷/保存

カウンセリング実践ハンドブック

編集代表 松原 達哉

編集協力 日本カウンセリング学会

丸善株式会社

「印刷/保存」をクリックすると、PDF形式で本文を保存できます。「エクスポート」をクリックすると書誌情報(タイトル・著者名等)を、形式を選んでエクスポートできます。

[SpringerLink eBooks]

Springerグループが提供する電子ブックサービスです。

レクチャーノートシリーズ(Lecture Notes in Computer Science, Lecture Notes in Mathematics, Lecture Notes in Physics)を含む

Springer Nature社の出版する電子ブック約58,000タイトル(2005-2022年出版)が利用できます。

同一タイトルの同時閲覧ユーザー数に制限はありません。

こちらからSpringer Nature社の電子ジャーナルも検索・閲覧できます。

The screenshot shows the SpringerLink search interface. The search term 'psychology' is entered in the search bar. The results show 10,211 results. A red box highlights a lock icon next to the search results, indicating that some content is not available for full-text viewing. A green box highlights the book 'A New Unified Theory of Psychology' by Gregg Henriques (2017).

鍵マークがあるものは契約対象外のため、全文閲覧不可。

The screenshot shows the book page for 'A New Unified Theory of Psychology' by Gregg Henriques. The page includes the book cover, the author's name, and statistics: 40 Citations, 17 Mentions, and 13k Downloads. There are two download buttons: 'Download book PDF' and 'Download book EPUB'. A red box highlights the download buttons, and a green box highlights the book cover and title.

コンテンツから必要な部分をダウンロード (スクロールすると目次が見えます)

本文全文をダウンロード

The screenshot shows the table of contents for the book 'A New Unified Theory of Psychology'. The table lists the chapters and their page numbers. A green box highlights the table of contents, and a red box highlights the download buttons from the previous screenshot.

6 資料の入手方法1

附属図書館所蔵資料及び資料コピーの入手方法

- ・附属図書館所蔵資料を、附属図書館へ直接来館または附属図書館から学習センター・サテライトスペースまでの取寄せで利用できます。調査にはOPAC(<https://catalog.ouj.ac.jp/>)を利用してください。
- ・学外からの入手等を検討したい場合は、『7.資料の入手方法2』(26ページ)を参照してください。
- ・学内利用限定・学外利用可能いずれの資料を利用する場合も、利用条件や返却期限日等を遵守してください。
- ・附属図書館所蔵資料の現物取寄せの場合、以下に留意してください。
 - ①貸出冊数には附属図書館カウンター及び学習センター・サテライトスペース経由での資料貸出冊数を含みます。
 - ②他資料の延滞がなく、また返却期限内に他の利用者の予約が入っていない場合、一般図書等は1回のみ貸出期間の更新ができます(更新処理をした日から、返却期限日を起算します)。
 - ③延滞中・貸出停止中の期間は新規に資料の貸出ができません。
- ・詳細は「取寄せサービス」(<https://lib.ouj.ac.jp/ill/ill-gaiyo.html>)を参照してください。

【附属図書館所蔵資料の複写(コピー)依頼】 有料

サービス対象者…本学学生(休学者を除く)、教職員

料金…モノクロ1枚10円、カラー1枚50円(送料不要)

申込方法…OPACから申し込み、または学習センター・サテライトスペース窓口で申込書に記入のうえ申し込み

受取方法…料金等を連絡いたしますので、学習センター・サテライトスペースに来所のうえ、受け取ってください。自宅等への発送はできません。

OPAC「詳細検索」画面



現物取寄せの場合は「予約」
自宅配送の場合は「自宅配送」を
クリック。

複写依頼の場合
「ILL複写依頼」を
クリック。

【附属図書館所蔵資料の予約・取寄せ】 無料

サービス対象者…本学学生(休学者を除く)、教職員

申込方法…OPACから申し込み(予約ボタンが表示されている本部資料)、または学習センター・サテライトスペース窓口で申込書に記入のうえ申し込み。

受取方法…受取希望館に資料到着後、連絡いたします。附属図書館、学習センター・サテライトスペースでの受け取りとなります。

※参考図書・一般AV資料・閉講放送教材・雑誌等は附属図書館内、学習センター・サテライトスペース内でのみ利用可能です。貸出はできません。

【附属図書館所蔵資料の自宅配送】 有料

サービス対象者…本学学生(休学者・停学者・延滞中資料のある者・貸出停止期間の中の者を除く)

料金…往復分の送料(往路は附属図書館より宅配便着払にて発送) **貸出期間**…1ヶ月

申込方法…OPACから申し込み、または申込書に記入のうえ附属図書館に郵送/FAX

※郵送(第4種郵便)により履修中の科目・再試験科目の放送教材を貸出できます。詳細は「放送教材(DVD・CD)の郵送貸出し」(https://www.ouj.ac.jp/hp/BorrowDVD_v01/)を参照してください。

資料の入手方法2

他大学等図書借用・文献複写の取寄せ・直接来館利用

放送大学では電子ジャーナルや電子ブックが読めない場合や、放送大学に図書や雑誌の所蔵がない場合、資料を所蔵する学外の図書館から図書を借用したり、複写物を取寄せることができます(※有料サービス)。また、所蔵している図書館に直接行き、閲覧利用をすることもできます。(一部の図書館は要申込)サービス対象者は、本学学生(休学者を除く)、教職員です。延滞資料がある場合や貸出停止期間は、サービスを受けられません。

【学外からの図書借用・文献複写の取寄せ(ILL現物貸借・文献複写)】 **有料**

放送大学図書館では国内の図書館からの図書借用・文献複写の取寄せを行っております(海外からの取寄せは不可)。料金の受け渡し等が発生しますので、学習センター・サテライトスペースでの受け渡しのみとなりご自宅までの発送はしていません。また原則申込後のキャンセルはできません。やむをえずキャンセルする場合も、その時点で発生している送料などの費用を負担していただきます。

●図書借用

他大学図書館等や国立国会図書館から図書を借用することができます(※国会図書館からの借用は、他大学図書館等に所蔵がない場合等に限られます)。借用した図書は、相手館が制限している場合、図書館(室)内での利用に限りますが、制限がない場合には館外での利用も可能です。借用に伴う送料は利用者の負担となります。OPACから申し込むか、図書館・学習センター等の窓口で申し込みしてください。

申し込みから資料の到着までは、おおむね1～2週間ほどかかります。また送料の負担は、他大学から附属図書館までの片道分となります(附属図書館から他大学までの返送料は本学で負担します)。送料は、図書の重量によって異なり、通常は700円～1,000円程度です。なお、他大学より借用した図書については資料の管理の観点から無断で複写することはできません。

●文献複写

資料を所蔵している図書館から複写物を取寄せることができます。複写料金(1枚35円～60円程度)及び送料は利用者の負担となります。OPACから申し込むか、図書館・学習センター等の窓口で申し込みしてください。申し込みから到着までは、おおむね1～2週間ほどかかります。

〈注意〉文献複写は著作権法で認められた範囲内で申し込みしてください。

- (1) 個人の調査・研究を目的とすること
- (2) 著作物の一部分であること(一部分とは著作物の半分以下を指します。ただし定期刊行物に掲載された個々の論文記事は(4)の条件を満たす場合に全部複写できます)
- (3) 一人につき一部であること
- (4) 定期刊行物に掲載された個々の論文は発行後相当期間を経過したものであること(発行後相当期間とは「次号が発行されるまでの間」または「発行後3ヶ月」とされています)

学位論文の入手

学位論文の探し方については、『トピックス-2』(30ページ)で紹介していますが、インターネット上で公開されていない学位論文を入手したい場合は、どうすればよいのでしょうか?

修士論文、卒業論文は公表を前提としない論文のため、閲覧や複写物の取寄せは難しいのが現状です。ただし各大学によって取り扱いが異なるため、文献複写を申し込みされた場合、利用の可否を確認します。博士論文は公表された著作物であるため、文献複写の場合、半分以下まででしたら依頼可能です。博士論文は、博士の学位を授与した大学と国立国会図書館(関西館)に所蔵されていますが、禁帯出資料の扱いになっているため、現物の図書借用はできません。博士論文の全文を閲覧したい場合、直接所蔵している図書館に閲覧しに行く、または著者に全文複写の許諾書をもらい、全文の文献複写申し込みをする、のいずれかになります。※全文複写許諾書取得は申込者ご本人に行ってください。詳細は附属図書館にお問い合わせください。

●申込方法

申し込み前に、「取寄せサービス」のWebページ(<https://lib.ouj.ac.jp/ill/ill-gaiyo.html>)も参照してください。電子ジャーナル等で論文全文が閲覧可能な場合もありますので、申し込みの前に確認してください。また、近くの公共図書館や連携協力図書館で所蔵している場合もありますので、他機関の図書館利用も検討してみてもはいかがでしょうか。

・OPACからの申込方法

OPACの「他大学検索」で雑誌や図書のタイトルを入れて検索してください(論文名では検索できませんのでご注意ください)。検索結果画面の「ILL複写依頼(コピー取り寄せ)」、「ILL貸借依頼(現物借用)」のリンクから申し込みできます。ログインに使うID/パスワードは「システムWAKABA」と共通です。

なお「他大学検索」では国立国会図書館所蔵資料は検索できません。国立国会図書館オンライン(<https://ndlonline.ndl.go.jp/>)で検索してください。

「他大学検索」では検索できない資料を申し込む場合は、OPAC検索画面トップの「利用状況照会・申込」のボタンをクリックし、表示されるメニュー「ILL複写依頼(有料サービス)」、「ILL貸借依頼(有料サービス)」から申し込みできます。

OPACからの申込方法について詳しくは、OPAC上の「OPAC利用マニュアル」を確認してください。

・用紙での申込方法 (https://lib.ouj.ac.jp/application_list.htmlに様式あり)

附属図書館や学習センター窓口にある申込書に必要事項を記入し、申し込みしてください(FAXや郵送では依頼不可)。申込書は附属図書館Webページからもダウンロードできます。

・リンクリゾルバからの申込方法 ※文献複写のみ申し込み可能(貸借は不可)

放送大学ディスカバリーサービスやCiNiiの検索結果に表示される「関連情報をみる」「放送大学関連情報」「関連情報」のアイコンをクリックすると、リンクリゾルバの画面が表示されます。表示された画面内の「他大学等文献複写申込」のリンクをクリックしてください。検索結果の論文書誌データを流用して文献複写申込ができます。

※CiNiiで「関連情報」のアイコンが表示されるのは、キャンパス内からお使いいただいた場合やリモートアクセス(3ページ参照)でお使いいただいた場合のみになります。

放送大学ディスカバリーサービス



「関連情報を見る」をクリック。

CiNii Research・CiNii Books



「放送大学関連情報」をクリック。

リンクリゾルバ



「他大学文献複写申込」をクリック。

●申込内容の確認、受取

OPACから申し込まれた場合、自動で依頼内容が記載された受付メールが送信されます。また、OPAC検索トップ画面の「ログイン」アイコンからログインすると複写・貸借依頼をしている資料の確認ができます。

受取希望館に資料が到着後、学習センター・サテライトスペースよりご連絡を差し上げます。その際に料金を通知します。なるべくお釣りのないようを用意してください。なお、一部相手館の条件により、銀行振込・郵便振替でお支払いいただく場合があります。

【直接来館利用】

●連携協力図書館の利用について

ご所属の学習センターによっては、機関間の申し合わせにより地元の大学附属図書館を中心とした各図書館の利用(閲覧・貸出)ができます。

利用方法など詳細は、ご所属の学習センターへ問い合わせしてください。閲覧したい資料があるかどうかは、各図書館のOPACを検索すると確認できます。

「日本図書館協会 大学図書館リンク集」<https://www.jla.or.jp/link/link/tabid/169/Default.aspx>

※訪問希望先の機関および図書館への直接の問い合わせはお控えください。

●公共図書館の利用について

文庫、新書、入門書など、お住まいの地域の公共図書館で利用できる資料も多くあります。また、お近くの公共図書館には所蔵がなくても、お住まいの自治体の公共図書館からは無料で取寄せ可能な場合もありますので、利用している公共図書館で確認してください。

閲覧したい資料があるかどうかは、各公共図書館のOPACを検索すると確認できます。

「日本図書館協会 公共図書館リンク集」<https://www.jla.or.jp/link/link/tabid/172/Default.aspx>

※個別の図書館へのリンク以外に、県内公共図書館横断検索があれば、まとめて検索できます。

また、公共図書館などを含めた複数の図書館の所蔵をまとめて検索できる「カーリル」という検索サービスもあります。自分で検索したい図書館を選ぶことができます。Amazonへのリンクもあり、販売情報等の確認もできます。利用方法について詳しくは下記カーリルのWebページを確認してください。

「カーリル」<https://calil.jp/> (カーリルについて はじめての方へ)<https://calil.jp/doc/about.html>

●他大学図書館等の利用について(連携協力図書館以外)

他大学図書館の所蔵については、CiNii Books(<https://ci.nii.ac.jp/books/>)で検索可能です。検索結果から大学所在地域での絞り込みもできます。貸出状況など、詳しくは各大学図書館のOPACを検索して確認する必要があります。

図書館によって、事前連絡が必要なところや、紹介状が必要なところなどさまざまですので、資料を閲覧しに行きたい図書館が決まったら、学習センター図書室窓口に相談してください。

紹介状発行には数日から1週間以上かかる場合もあるので、日程に余裕をもって申し込みしてください。

【学生図書リクエスト】

本学には所蔵していないが学習に不可欠で、購入を希望する図書館資料がありましたら、附属図書館にリクエストすることができます。サービス対象者は、学部全科履修生、選科履修生、大学院博士全科生、修士全科生、修士選科生（休学者、図書の延滞者及び貸出停止中の者を除く）です。その他詳しくは、下記Webページ「学生図書リクエスト」の項目を確認してください。

「学生図書リクエスト」<https://lib.ouj.ac.jp/service.html#tosyo>

国立国会図書館の登録利用者制度

国立国会図書館オンライン(<https://ndlonline.ndl.go.jp/>)は、国立国会図書館の所蔵資料の検索・申し込みができるシステムです（資料の申し込みをする場合は、下記登録が必要です）。

国立国会図書館に個人的に登録すると、複写物を自宅へ送ってもらうことができます（有料）。ただし国立国会図書館に所蔵があるものだけになります。

国立国会図書館の登録利用者制度 <https://www.ndl.go.jp/jp/registration/>

国立国会図書館の遠隔複写サービス <https://www.ndl.go.jp/jp/copy/remote/>

学位論文の探し方

TOPICS-2

●放送大学の修士論文の閲覧について

附属図書館では、過去3年分の修了生の修士論文のうち、執筆者が閲覧を許諾しているものを保管しています。これらは、本学の学生・教職員・卒業生に限り閲覧することができます。

修士論文の閲覧を希望される方は、附属図書館(千葉市)において「年度別修士論文一覧」を参照し、閲覧が可能な修士論文について、所定の申込書に必要事項を記入の上、閲覧を申し込んでください。なお、臨床心理学プログラムの修了生の修士論文は非公開としており、閲覧できません。

複写や附属図書館の外への持ち出しはできないため、附属図書館内のみでの閲覧となります(学習センター図書室への取寄せ対象外です)。

参照)「修士論文の閲覧について」(放送大学)

<https://www.ouj.ac.jp/gakuin/about/thesis/>

●学位論文の探し方

学位論文とは学位を取得するために提出する論文のことで、博士論文、修士論文、卒業論文があります。修士論文、卒業論文は公表を前提としていないため、閲覧は難しいのが現状です(放送大学の修士論文の閲覧については、前項を参照)。ここでは日本の博士論文のさがし方を中心に紹介します。

①国立国会図書館でさがす

国立国会図書館では、大正12(1923)年9月以降の国内博士論文を所蔵しています。国立国会図書館オンライン(<https://ndlonline.ndl.go.jp/>)にアクセスし、詳細検索画面で資料種別を「博士論文」のみにチェックをした上で、キーワード等を入力し、検索してください。なお、電子形態の所蔵のものについては、国立国会図書館オンラインから、国立国会図書館デジタルコレクション(<https://dl.ndl.go.jp/>)にアクセスしていただくと、閲覧ができるものがあります。

参照)「国内博士論文」(国立国会図書館-リサーチナビ)

https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/kansai-kan/post_100044

②CiNii Research / CiNii Dissertationsでさがす

CiNii Dissertationsとは国立国会図書館、日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報(学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等)を横断的に検索できるサービスです。(CiNii Dissertationsは2024年12月上旬にCiNii Researchに統合予定です)

学位規則改正により、平成25(2013)年4月以降に学位授与大学等が授与した博士の学位に係る博士論文は、学位授与大学等を通じてインターネットで公表されることになりましたので、リポジトリに登録された博士論文はCiNii Dissertationsにより検索・閲覧することができます。

また、国立国会図書館が所蔵する博士論文についても一元的に検索することができます。

検索するにはCiNii Dissertations(<https://ci.nii.ac.jp/d/>)にアクセス、もしくはCiNii Research検索窓下の「学位論文」をクリックし、キーワード等を入力し検索してください。

CHECK!

放送大学機関リポジトリManapiO

②でも少し触れましたが、大学等の研究機関では、その知的生産物を電子的形態で集積し、保存し、無料で公開するために「リポジトリ」と呼ばれる電子アーカイブシステムを設置しています。放送大学でも、2013年10月より「放送大学機関リポジトリManapiO(まなびお)」を公開しています。ManapiOでは「放送大学研究年報」などの学内刊行物、学位(博士)論文、放送大学附属図書館で所蔵するちりめん本等貴重書の画像データ等を公開しています。

放送大学機関リポジトリ ManapiO
(<https://ouj.repo.nii.ac.jp/>)



8 文献の利用方法と管理

参考文献の役割

研究を進めていく上で、他の研究者が著述した先行研究の文献を読むことはとても重要です。このガイドでは、そういった既に執筆・公表された膨大な図書、論文、学術情報から必要な文献を探すための情報探索ツール（Webサイト）等を紹介してきました。そうして入手した文献の内容を、自分の書く論文に引用する場合は一定のルールがあります。その表現方法を間違えると、「剽窃^{ひょうせつ}」や「盗用」として疑われたり、場合によっては罪に問われる事もあります。自分の意見と他人の意見と区別して明確にわかるように記述する、「出典の明示」が必要です。また、正しい引用をすることで、論文での自分の意見に客観的な「信頼性」が増します。正しい引用の仕方や参考にした文献の明示に心がけ、執筆しましょう！

【引用文献・参考文献】

分野によっては、「引用文献」、「参考文献」を区別せずに「参考文献」または「参照文献」と呼ぶこともありますが、ここでは、分かりやすくするために区別して説明します。「引用文献」とは、本文中に明示した文献です。本文中で他人の意見を書いている場合は、必ず、他人の意見であることがわかるように明示すること（出典の明示）が必要です。「参考文献」とは、本文中では触れないが、執筆全体を通じて利用した文献のことです。なお、他の著作物の写真や図表を転載することは、通常、この引用条件範囲を超えると考えられることが多いので、著作権者の許諾が必要です。

引用・参考文献の書き方は、各分野や雑誌によってルールがあります。代表的なものとして、「SIST 02」を紹介します。（*雑誌等に論文を投稿する場合は、必ず、その雑誌のルールの確認や指導教員に相談してください。）

【SIST 02(科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方)】

SIST(Standards for Information of Science and Technology=科学技術情報流通技術基準)は、旧科学技術庁が開始した事業で、文字通り、科学技術情報の流通を円滑にするために作成された基準です。その基準の中の「SIST 02」は「参照文献の書き方」で、科学技術論文の参照文献を示す際に記述する表記法、記述順序等の原則や指針を示すものです。最新の基準はSIST 02:2007です。

(SIST事業は2012年3月で終了となっておりますが、SIST 02は公開されており、日本では標準的な基準となっております。)

【参考】「参考文献の役割と書き方」

https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf

「科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方」

https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm

引用・参考文献 書き方例

では、具体的に代表的な書き方を例示してみます。なお、下はSIST 02に準じた一例です。学術雑誌等に論文を投稿する際には、必ず、その雑誌のルールを確認してください。*以降の例文の文献はすべて架空の文献です。

【図書(単行本)の場合】

著者名、₁書名、₂版表示、₃出版地、₄出版者、₅出版年、₆総ページ数、₇(シリーズ名、₈シリーズ番号)、₉ISBN.

*記号「,」、「.」は半角で統一。「₁」は半角スペース。出版地、シリーズ名、シリーズ番号、ISBNは任意記述項目で省略可能。総ページ数はページ数の後に「p.」を付加。

例

〈本文中での引用例〉

まなびーは、「放送大学イメージキャラクターとして2008年に誕生しました。デザインは漫画家のこうの史代さん」(放送大学学園 2010:211)により、作成され……

〈引用文献・参考文献リスト〉

放送大学学園. 放送大学年史. 改訂版, 千葉, 若葉出版, 2010, 455p.

【雑誌論文の場合】

著者名、₁論文名、₂誌名、₃出版年、₄巻数、₅号数、₆はじめのページ-おわりのページ.

*記号「,」、「.」は半角で統一。「₁」は半角スペース。

例

〈本文中での引用例〉

「4Kや8Kなどの高精細画像放送の可能性について論じてきたが、重要なのはあくまでもコンテンツ(授業内容)である」(幕張太郎 2014:41)と述べているように、…………

〈引用文献・参考文献リスト〉

幕張太郎. 4Kと放送授業の未来. 放送授業技術研究. 2014, vol. 12, no. 2, p. 40-45.

また、引用文献・参考文献と本文の関連付けには、バンクーバー方式とハーバード方式があり、どちらかで書かれることが多いようです(前述での例は、ハーバード方式で書いています)。

【バンクーバー方式(引用順方式)】

本文の参照箇所引用順に連番(例えば、¹⁾²⁾³⁾…)を振り、文献リストの記載の際に、その順番で記述する方式です。

例

幕張¹⁾は、「4Kや8Kなどの高精細画像放送の可能性について論じてきたが、重要なのはあくまでもコンテンツ(授業内容)である」と述べているように、…………

〈引用文献・参考文献リスト〉

1) 幕張太郎. 4Kと放送授業の未来. 放送授業技術研究. 2014, vol. 12, no. 2, p. 40-45.

【ハーバード方式(著者名・発行年方式)】

本文での参照箇所にカッコ()を挿入して、カッコ中に(参照している文献の著者名 出版年:該当ページ)を記述し、文献リストの記載の際には、著書名・発行年順に記述する方式です。

例

「4Kや8Kなどの高精細画像放送の可能性について論じてきたが、重要なのはあくまでもコンテンツである」(幕張太郎 2014:41)と述べているように、…………

〈引用文献・参考文献リスト〉

海浜花子. 災害時の放送設備. 放送授業技術研究. 2014, vol. 12, no. 2, p. 30-39.

放送大学学園. 放送大学年史. 改訂版, 千葉, 若葉出版, 2010, 455p.

幕張太郎. 4Kと放送授業の未来. 放送授業技術研究. 2014, vol. 12, no. 2, p. 40-45.

引用文献・参考文献の書き方いろいろ

ここまで、SIST 02 に基づいた日本の科学技術論文での引用文献・参考文献リストの書き方について紹介してきました。引用文献・参考文献の書き方は、学術分野や雑誌によって、さまざまなスタイル(記述法)があります。こんなに違うという例を紹介します。

【文科系日本語著書・雑誌論文の場合】

共通事項として、①単行本名は『 』、論文名は「 」で囲む。②()内に書誌情報を付ける。などがあります。以下に一例をあげます。

例

〈単行本〉

記述法: 著者名『書名』(出版社、出版地、出版年)引用頁

記述例: 幕張太郎『歴史と人間』(海浜社、東京、2015年)45~56頁

〈雑誌論文〉

記述法: 著者名「論文名」(『雑誌名』号数、発行者、出版年月)引用頁

記述例: 千葉花子「海と幕張」(『幕張研究』5、幕歴学会、2015年4月)32~33頁

このように、先に書いたSIST 02とは違います。皆さんが論文等を執筆する際は、投稿する雑誌や研究分野でのスタイル(記述法)で記述してください。

文献管理ツール

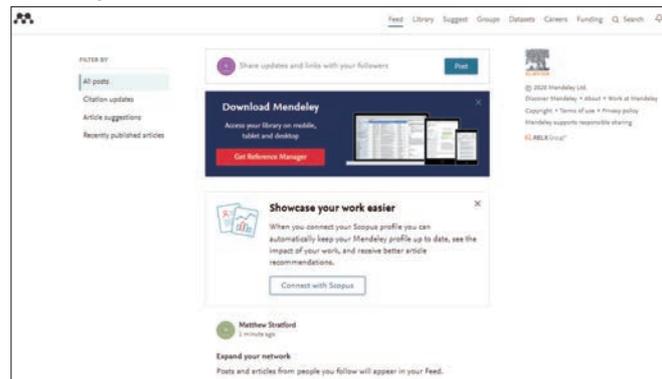
大量の文献を入手して論文を書いていくとき、引用文献・参考文献の情報をまとめておくと、執筆を進めていく時に、大変便利です。このガイドでは、無料の文献管理ツールを紹介します。

双方とも文献管理だけでなく、論文作成支援機能がついています。具体的には、前頁の引用・参考文献のリストを作成して、文書に挿入することが可能です。興味があったら、ぜひ、試してみてください。

[Mendeley] <https://www.mendeley.com/>

デスクトップ版とWeb版、スマートフォン版アプリがあり全て無料です。利用する際には、アカウントの登録(メールアドレス等を登録)が必要となります。デスクトップ版を利用する場合、使用するPCにソフトウェアのインストールが必要です。また、Web版の場合でも、取り込みたいデータベースの種類によっては、Web Importerの登録が必要ですので、環境や好みに合わせて選

Mendeley デスクトップ版



択してください。なお、Web版とデスクトップ版は、データの同期も可能です。また、データを提供元のサーバ上と個人使用のPC上に保存することができます。

Mendeleyの特徴のひとつは、PDF(文献)を対象とした優れた文献管理機能です。デスクトップ版では、PDFをドラッグ&ドロップするだけで自動的に書誌事項を抽出できます。また、保存したPDF(文献)のフォルダ管理機能やPDFビューア機能も装備され、PDFのテキストをハイライトしたり、注釈の追記も可能です。

[EndNote basic] <https://endnote.com/>

通常は、デスクトップ版を購入してPCにインストールしますが、Web版の「EndNote Online (basic)」は無料で利用できます(またiPhoneなどに搭載されているiOS用のアプリもあります)。放送大学のディスカバリーサービス(EBSCO Discovery Service 以下、EDS)とは親和性が高く、EDSの検索結果を簡単にEndNote Online (basic)に取り込むことができます。利用する際には、アカウントの登録(メールアドレス等を登録)が必要となります。Web版のため、個人のデータの保存場所は、提供元のサーバ上になります。

EndNote basic



9 附属図書館について

電子ジャーナルやデータベースの利用方法、文献の取寄せ方法など、インターネットで利用できるサービスを中心に紹介しましたが、最後に附属図書館について紹介します。

※利用可能なサービス・設備等が変更になる場合があります。詳細は附属図書館ホームページで確認するか、お問い合わせください。

放送大学附属図書館は千葉県千葉市の放送大学本部キャンパス内にあり、広々とした快適な環境の中で学習や調査・研究を行うことができます。附属図書館には、図書約37万冊、雑誌約2千タイトルの他、視聴覚資料、マイクロ資料など学習・研究に役立つさまざまな資料を所蔵しています。開館日・開館時間や図書館が提供しているサービスについて、詳しくは附属図書館ホームページで確認してください。

1階には参考図書や印刷教材などが配架されています。映像音響資料室には放送授業のCD、DVD等が備えられており、個人ブースで視聴することができます。授業の再視聴や先取り学習にも利用できます。カウンターでは図書の貸出・返却、予約・取寄せ図書の受け取り、各種申し込みの受付の他、文献の探し方などの相談をすることができます。図書館をご利用の際は学生証を持参してください。

2階には一般図書と雑誌バックナンバーなどが配架されています。図書は主題を表す請求記号の順に配架されていますので、お目当ての本を見つけたらその周りもご覧ください。新たな本との出会いがあるかもしれません。一人で使用する研究個室では、落ち着いた環境でじっくり研究に取り組むことができます。

3階には新着雑誌と文庫・新書などの小型本が配架されています。また、グループ視聴室と演習室があり、グループで学習することができます。学生、教職員が2名以上含まれるグループで利用してください。研究個室、グループ視聴室、演習室の利用を希望される方は、カウンターに申し込みをしてください。予約は2件まで、1ヶ月前から申し込みが可能です。

PCを持参して使用したい場合は、館内の決められた場所で使用してください。インターネットを使用したい場合は学内無線LAN接続サービス(Wi-Fi)を申請して利用してください。

ご自宅ではインターネットを通じて文献検索や電子ジャーナル、電子ブックの閲覧をし、図書館では実際に手にとって確認するなど、状況に応じて各種ツールを使いこなして、日々の学習・研究をさらに充実したものにしてください。

附属図書館外観



附属図書館1階



2階書架



研究個室



演習室



文献情報等探索ツール一覧表

このガイドに掲載の情報探索ツール(Webサイト)やページ数の都合で紹介できなかったツールを一覧表にまとめました。放送大学で契約しているため利用できるものと、一般に無料公開されているものがありますので、それぞれ、ご利用の際は注意してください。

この表にあるデータベース等については、附属図書館ホームページ内からアクセスできます。

(<https://lib.ouj.ac.jp/e-resource.html>)

※この一覧表に書かれている情報は、2023年12月1日時点での情報であり、その後、変更となる場合があります。

●一覧表中の表現

データベース名の()内は正式名称や別名称

DB…データベース

学内限定…放送大学キャンパス内だけの利用となります

リモート…リモートアクセス(3ページ参照)のサービスを利用して自宅等のキャンパス外から利用できます

無料公開…一般に無料公開されています

参照頁…本書で紹介しているページがある場合はページ数が表示されています

〈全分野〉

データベース等/Webサイト名	形態	分野	内容	参照頁
放送大学ディスカバリーサービス	ディスカバリーサービス リモート	全分野 世界	・放送大学がアクセス可能なデータベースを一度に検索できるサービス ・検索から(閲覧可能な資料は)本文の表示まで可能	4-8 ページ
CiNii Research	DB リモート	全分野 国内	・国内学協会雑誌、研究紀要の論文検索可能 ・引用・被引用情報あり	15-17、 30ページ
CiNii Dissertations	DB 無料公開	全分野 国内	・国内の学位論文(主に博士論文)の検索が可能 ・また機関リポジトリにて公開されているものについては本文の閲覧が可能 (2024年12月上旬にCiNii Researchに統合予定)	30ページ
Directory of Open Access Journals(DOAJ)	DB 無料公開	全分野 世界	・オープンアクセス(無料)電子ジャーナルの論文検索・閲覧が可能	14ページ
Google Scholar	検索エンジン 無料公開	全分野 世界	・世界の学位論文含む学術論文の検索可能	9ページ
IRDB	DB 無料公開	全分野 国内	・国内学術機関リポジトリに蓄積された論文等の検索が可能	—
Preprints.org	DB 無料公開	全分野 世界	・さまざまな分野の「プレプリント(査読前の著者稿)」の閲覧ができるデータベース ・著者稿のため即時性が高く、いち早く情報が得られるが、査読前のため論文の撤回などに注意	—
国立国会図書館サーチ	DB 無料公開	全分野 国内	・検索対象は、国立国会図書館、都道府県立図書館や大学図書館の蔵書、デジタル資料のデータベースなど ・あいまいな表現から資料を探す機能や、英語や中国語・韓国語の翻訳機能など多様な機能あり	—
ジャパンサーチ	DB 無料公開	全分野 国内	・日本国内の大学・研究機関、公共施設、自治体等のデジタルアーカイブを横断して検索できるシステム ・検索対象は書籍のみならず、文化財、メディア芸術など多岐に渡る	—

〈人文・社会科学分野〉

データベース等/Webサイト名	形態	分野	内容	参照頁
ERIC (EBSCOhost)	DB リモート	教育学 世界	・教育学分野世界最大のデータベース ・雑誌論文、図書、研究報告書、カリキュラム資料、 会議録等の検索	—
nihulNT 人間文化研究機構 (統合検索システム) —	DB 無料公開	人文・ 社会科学 国内	・人間文化研究機構が提供する横断検索サービス ・国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館など歴史的資料を 中心に100を超えるデータベースを対象に検索可能	—
特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)	DB 無料公開	特許情報 国内	・明治以来、特許庁が発行してきた特許・実用新案・意匠・ 商標に関する公報類や出願審査状況が検索可能	—
日経バリューリサーチ	DB 学内限定	新聞・雑誌・ ビジネス関係の各種情報 国内	・企業・財務情報、経済・業界統計、日経ニュース・記事 などが検索可能 ・同時利用は1名のみ	—
日本における中東研究文献DB	DB 無料公開	中東地域・ イスラム研究 国内	・1989年以降に日本で刊行された中東地域やイスラームに 関する研究文献と、日本人編著の国外出版物も検索可能 ・日本中東学会が運営	—
近現代史料データベース(J-DAC)	DB リモート	人文・社会科学 国内	・近現代日本の原資料データベース ・外交から内政までの各種政策資料や、インタビュー・ ヒアリング記録、日記・手帳、メモ、書簡、直筆原稿・草稿等	—
初期英語書籍集成データベース (Early English Books Online)	DB リモート	人文・社会科学 世界	・1473年から1700年に英国で出版(あるいは英語で記述・ 刊行)された印刷物のデータベース ・文芸、宗教、歴史、政治、経済、科学、芸術、言語学まで、近世英国と ヨーロッパに関する様々な学問分野の出版物約13万点を収録	—
Sociological Abstracts	DB リモート	人文・社会科学 世界	・社会学、社会科学および行動科学の関連分野に関する 書誌抄録データベース ・1952年以降の書誌抄録、2002年以降は引用文献情報も提供	—

〈自然科学分野〉

データベース等/Webサイト名	形態	分野	内容	参照頁
PubMed	DB 無料公開	医学 世界	・医学最大のデータベース ・1950年以降の世界の医学関係の雑誌の論文検索	13-14 ページ
zbMATH	DB 一部無料公開	学術雑誌 数学 世界	・ヨーロッパ数学会が中心となり、数学、統計学、コンピューター サイエンスはじめ、数学に係わる応用領域の文献を収録 ・検索結果の上位3件まで無料公開	14ページ
理科年表プレミアム	DB リモート	自然科学 国内	・自然科学分野(暦部、天文部、気象部、物理/化学部、 地学部、生物部、環境部の7部門)に関連する 図表やデータを収録	—

〈雑誌、図書、新聞等の全文情報〉

データベース等/Webサイト名	形態	分野	内容	参照頁
放送大学 ManapiO	リポジトリ 無料公開	学内	・放送大学の所属教員等の著作物や、成果報告書、貴重書、 博士論文等を検索・閲覧可能	30ページ
arXiv	DB 無料公開	学術論文 数学など 世界	・物理学、数学、計算機科学、量的生物学などの プレプリントを含む様々な論文が検索可能 ・コーネル大学が運営	—
Cambridge Core	DB リモート	学術雑誌 人文・社会科学 世界	・Cambridge University Pressが提供する雑誌の 論文のうち、HSS(人文・社会科学分野)パッケージの 284タイトルについて全文を閲覧可能	12ページ

EBSCO eBooks	DB リモート	図書 世界	・EBSCO社が提供する電子ブックサービス (日本および海外出版物) ・同一タイトルは同時に1名のみ利用可能 ・本文の印刷・保存はコンテンツ毎に上限あり	21ページ
Google Books	DB 一部無料公開	図書 世界	・Googleが提供する書籍の全文検索サービス ・一部書籍については閲覧、印刷のためにダウンロード可能	—
IEEE CSDL	DB リモート	学術雑誌 情報工学、電気・通信工学 世界	・IEEE Computer Society が発行するコンピュータサイエンスとコンピュータ工学に関する定期刊行物 44タイトルの1968年から最新号までを閲覧可能	—
J-STAGE	DB 無料公開	全文野 国内	・科学技術振興機構(JST)提供 ・国内の学会が発行する電子ジャーナルを検索・閲覧が可能 (全文は「FREE」となっているものが一部を除き無料公開)	—
JSTOR	DB リモート	学術雑誌 人文科学等 世界	・最新号ではなく、概ね1年から5年前に出版された学術雑誌のバックナンバー ・本学では経済学、歴史学、政治学、社会学のコアジャーナルを含むArts & Sciences Iの117タイトルが利用可能	12ページ
KinoDen	DB リモート	図書 国内	・紀伊國屋書店が提供する電子ブックサービス ・同一タイトルは同時に1名のみ利用可能 ・本文の印刷・保存はコンテンツ毎に上限あり	22ページ
Maruzen eBook Library	DB リモート	図書 国内	・丸善株式会社が提供する電子ブックサービス(日本の学術書籍) ・同一タイトルは同時に1名のみ利用可能 ・本文の印刷・保存はコンテンツ毎に上限あり	23ページ
OALster	DB 無料公開	学術雑誌等 全分野 世界	・世界各国の大学等に蓄積された学術情報 (学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書)が検索可能 ・OCLCが運営	—
Project Euclid	DB 無料公開	学術雑誌 数学 世界	・数学・統計学分野のオンライン出版プラットフォーム ・コーネル大学図書館とデューク大学図書館が共同開発 ・  のマークがついているものは全文閲覧可能	—
Project Gutenberg	DB 無料公開	図書 世界	・無料の電子ブック提供サービス ・著作権の切れた西洋の文学作品の名作を中心に電子化し公開	—
Project MUSE	DB 一部無料公開	人文・社会科学 世界	・文学、歴史、映画・演劇・舞台芸術、文化研究、教育、政治、ジェンダー研究、経済等分野の電子ジャーナルサービス ・査読済学術雑誌、電子ブックが収録されており無料で一部閲覧可能	—
ScienceDirect	DB リモート	学術雑誌 自然・人文・社会科学 世界	・Elsevier社が提供する学術雑誌の約2,400タイトルが閲覧可能 ・世界最大級の学術雑誌の全文データベース	10-11 ページ
SpringerLink	DB リモート	学術雑誌・図書 世界	・Springerグループが提供する学術雑誌2,190タイトル(1997年以降)が閲覧可能 ・レクチャーノートシリーズを含むSpringer Nature社の電子ブック約55,000タイトル(2005-2019年出版)が閲覧可能	12ページ、 24ページ
朝日新聞クロスサーチ	DB リモート	新聞・雑誌 国内	・1879(明治12)年の創刊号からの朝日新聞の記事や「AERA」、「週刊朝日」などの雑誌も検索可能 ・同時利用は2名まで	—
日経BP記事検索サービス	DB リモート	雑誌 ビジネス等 国内	・日経BP社などが発行する雑誌記事、企業や官公庁/地方自治体の発表するリリースなどの検索・閲覧が可能 ・年間での閲覧数の上限あり	—
ジャパントイムズアーカイブ	DB リモート	人文・社会科学 国内	・ジャパントイムズ(the Japan Times)の1897(明治30)年からのアーカイブ ・国内外の政治・経済・文化からテレビ欄・広告・読者投稿欄等まで収録	—

〈事典・辞典〉

データベース等/Webサイト名	形態	分野	内容	参照頁
ジャパンナレッジLib	DB リモート	事典・辞典 国内	・百科事典・辞典・現代語事典、東洋文庫、新編日本 古典文学全集など約100種類のコンテンツが利用可能 ・同時利用は4名まで	18ページ
ブリタニカ・アカデミック・ジャパン	DB リモート	事典・辞典 国内・世界	・日本語の百科事典「ブリタニカ・オンライン・ジャパン」と 歴史ある英語の百科事典「Britannica Academic」が 利用可能	—

〈統計〉

データベース等/Webサイト名	形態	分野	内容	参照頁
e-Stat(政府統計の総合窓口)	DB 無料公開	統計 国内	・日本の各府省の統計データをキーワード・分野・ 組織名から探す。統計データを様々な活用する機能あり	19-20 ページ

〈公募助成金検索〉

データベース等/Webサイト名	形態	分野	内容	参照頁
KAKEN 科学研究費助成事業データベース	DB 無料公開	全分野	・文部科学省と日本学術振興会が交付した科学研究費 補助金の採択課題と研究成果の概要(研究実績報告、 研究成果概要)を収録したデータベース	—
(公財)助成財団センター 助成金情報	DB 無料公開	全文野 国内	・助成プログラム約3,000件を収録したデータベース ・事業形態や事業分野、募集時期、キーワードによる 検索が可能	—
厚生労働科学研究成果 データベース	DB 無料公開	医学 公衆衛生学	・厚生労働科学研究費補助金等で実施した研究報告書の 概要版および報告書本文を収録したデータベース	—

〈研究者・研究情報検索〉

データベース等/Webサイト名	形態	分野	内容	参照頁
J-GLOBAL	DB 無料公開	全文野 国内	・科学技術振興機構(JST)提供 ・研究者情報、文献、企業情報、特許など多様な情報と リンクして、新しい発想やつながりを探す検索	—
researchmap	DB 無料公開	人名 国内	・国内の大学等の機関情報や研究者情報などの データベース ・日本の研究者総覧の中では最大級	—

〈図書、雑誌等所蔵検索〉

データベース等/Webサイト名	形態	検索対象	内容	参照頁
放送大学OPAC	所蔵検索	放送大学	・放送大学附属図書館や各学習センター図書室の所蔵資料が検索可能 ・附属図書館(千葉市)所蔵資料予約、文献複写、 相互貸借等の申込が可能	25-28 ページ
CiNii Books	横断検索 無料公開	国内の 大学図書館等	・全国約1,200の大学図書館などが所蔵する 約1,000万件のデータが検索可能 (2025年度後半にCiNii Resarchに統合予定)	28ページ
カーリル	横断検索 無料公開	国内の図書館	・全国の図書館(公共図書館、大学図書館など)の 蔵書情報と貸出状況を簡単に検索できるサービス ・地名を選んだ検索が可能	28ページ
国立国会図書館オンライン (NDL-ONLINE)	所蔵検索 無料公開	国会図書館	・国立国会図書館所蔵資料を検索可能 ・国立国会図書館編集の「雑誌記事索引」を検索可能	29-30 ページ

参考文献

【図書】

高柳秀明、柳沼良和. 研究のためのICT活用. 東京, 一般財団法人放送大学教育振興会, 2013.

【Webサイト】

"参考文献の役割と書き方, 科学技術情報流通技術基準(SIST)の活用". 科学技術振興協会.
https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf,
(参照 2023-12-01).

"科学技術情報流通技術基準, 参考文献の書き方". 科学技術振興協会.
https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm, (参照 2020-10-01).

"SISTをみる". 科学技術振興協会.
<https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/perusal/index.html>,
(参照 2023-12-01).

"SIST科学技術情報流通技術基準". 科学技術振興協会.
<https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12003258/jipsti.jst.go.jp/sist/index.html>, (参照 2023-12-01).

画像転載

"政府統計の総合窓口(e-Stat)". 独立行政法人統計センター. <https://www.e-stat.go.jp/>, (参照 2023-12-01).

執筆者

*五十音順で記載しています。

木野村 和人 小林 幸志 近藤 成一 佐藤 啓威 高橋 雅一 真中 孝行
(修正: 磯本 善男 大内田 杏 金井 和男 佐藤 啓威 嶋田 晋 野崎 歓)



〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11

<https://lib.ouj.ac.jp/>